

生きがいに満ちた生涯学習のまち相馬をめざそう！



生涯学習

暮らしに潤い 心にゆとり
笑顔広がる 生涯学習

だより

令和7年度

No.1

10月15日発行
相馬市生涯学習
推進本部



令和7年
8/20

トイドローンで学ぶテクノロジーと未来の仕事

市生涯学習推進本部が主催する生涯学習イベント「親子でロボット操縦体験～ドローンを操縦してみよう！～」が、はまなす館（総合福祉センター）多目的ホールで開催され、市内の小中学生とその家族28名が参加しました。

本講座では、「福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島ロボットテストフィールド」から職員4名を講師にお迎えしました。

初めに、ドローンをはじめとするロボットがこれからの社会で果たす役割や活躍が期待される分野についての講義が行われました。

その後、参加者たちはトイドローンを実際に操縦し、前後左右への移動や着陸の操作を体験しました。また、バッテリーの交換方法を学び、トイドローンの構造を間近で観察しながら、参加者たちは未来へつながる貴重な体験を楽しみました。

問合せ先

相馬市生涯学習推進本部事務局：相馬市教育委員会生涯学習課 TEL 37-2187

ともに歩む社会へ — 男女共同参画で未来をつくる —

昨今、多くの場面で「男女共同参画」という言葉が聞かれるようになりました。男女共同参画は、単なる理念にとどまらず、地域全体をより豊かで活力ある場所へと変えるための重要な取り組みです。相馬市でも男女共同参画を推進し、すべての方が自分らしく暮らせる社会の実現を目指しています。そこで今回はその必要性和相馬市における取り組みについてご紹介します。



男女共同参画がなぜ必要なのか？

日本では依然として、性別による役割意識や固定観念が根強く残っています。例えば、「男性は外で働き収入を得るべき」「女性は子育てや家事を担うべき」や「男性の方が理系科目が得意」「女性の方が手先が器用」といった考え方です。このような考えは、個人の人生や選択肢を制限してしまうことがあります。男女共同参画を推進することで、誰もが性別に関わらず才能や能力を発揮する社会を実現できます。これにより、学校や職場、ひいては地域全体の活性化にもつながります。

相馬市の取り組みをご紹介します

市では、男女共同参画を推進するために、さまざまな取り組みをしています。男女共同参画に関連する写真展の開催や、図書の展示などのイベントを開催し、一人ひとりがお互いを尊重する大切さに気づくためのお手伝いをしています。



みんなでシェアしよう♪「えがおの写真展」
R6.11.1 ~R6.12.1 開催



パパのカジダン (家事男性) を応援したい!
~おやこで Xmas 料理教室~ R6.12.14 開催



男女共同参画社会 関連図書展示
R7.5.24 ~R7.6.30 開催

みなさんの「才能」や「能力」が性別に関係なく活かされる社会を想像してみてください。とても素敵で生きやすいと思いませんか？男女が共に協力し、一人ひとりの個性が輝く社会をつくることで、地域全体も元気になり、暮らしがもっと楽しくなります。そんな未来を目指して、一緒に一歩ずつ進んでいきましょう。

中村城の保存・管理と復旧状況について

中村城の歴史



本丸鉢巻石垣 (H28年頃)

相馬利胤は、慶長 16 (1611) 年 7 月、中村 (相馬市中村) で城の造営に着手し、12 月 2 日に小高から移りました。以来明治 4 (1871) 年まで 260 年間にわたり、相馬中村藩、六万石、相馬氏の居城となりました。

相馬氏が中村城の造営にとりかかって、わずか 5 か月余の工期で入城できたのは、中世から使用されてきた中村城の完成度が高く、造営工事は修築的なものであったことなどによると考えられています。

中村城は、この時期に完成したわけではなく、その後数年かけて整備され、やがて不要な門や塀は取り除かれていきました。

中村城の全体的な特色は、石垣が主要部分にわずかにあるだけで、土塁 (※1) と柵形 (※2) と水堀を巧みに利用したところにあります。

最初の工事では、それまで城の南を流れていた宇多川をさらに南に移し変え、城域を拡張して堀を深くし、一部に石垣を用いて本丸を中心に二の丸、三の丸を整然と区別するとともに、それぞれの郭 (※3) には土塀を回し、本丸の西南には三層の天守閣 (1670 年、落雷で焼失) が据えられました。北側には三重の水堀を巡らすなど、中村城の縄張り (※4) は北方の伊達氏を意識したものと考えられます。

※1 = 土を盛って造った土手 ※2 = 土塁や石垣で囲った四角形の空間

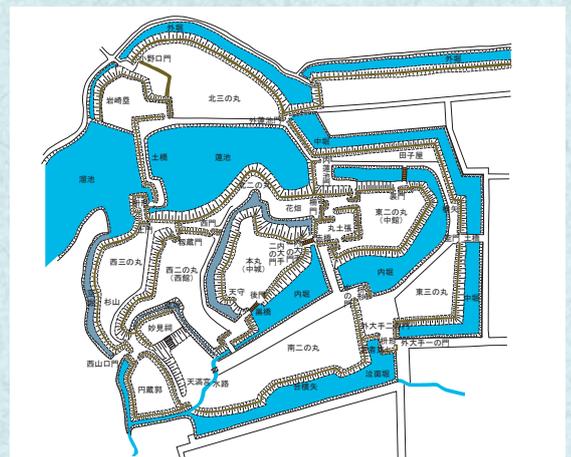
※3 = 土塁などで区切った城内の一区域 ※4 = 城の設計、構造

保存と管理

保存・管理の一環で、城内とお堀の除草作業を行っています。お堀には、井戸水を取水し、水質の保全に努めています。また、中村城を PR するため、城内数カ所にパンフレットを設置しています。



上 水草除去作業状況
右 城内設置パンフレット



元禄 15 年中村城下絵図などを参考に作成された絵図

復旧状況について

- ① 大手門復旧後全景
- ② 防護ネット設置状況
- ③ シート設置状況
- ④ 土嚢設置状況



東日本大震災後、石垣 (石積み) の積み直しを行うために、発掘調査などを実施しましたが、2 ヶ年にわたり発災した福島県沖地震により、さらに被害が拡大しました。現在は、大手門を復旧し、石垣の危険個所には防護ネットや大型土嚢を配置しています。今後、石垣の状況を確認しながら、復旧方法を順次検討します。



平成 27 年度撮影 本丸南面

相馬市子ども親善使節団 姉妹都市の北海道大樹町と豊頃町を訪問

相馬市子ども親善使節団の小学生 18 名が、7 月 26 日（土）から 28 日（月）の 3 日間、姉妹都市である北海道大樹町と豊頃町を訪問しました。

本事業は、昭和 58 年に姉妹都市となった両町との交流を目的に、交互に使節団を派遣し、今年で 41 回目の開催です。

27 日（日）、大樹町生涯学習センターにて、相馬市、大樹町、豊頃町、3 市町の交流事業が開催されました。参加した子どもたちは、はじめにプロフィールカード交換を通じて自己紹介を行い、その後、モデルロケットの製作と打ち上げ体験が行われました。参加した子どもたちは、グループごとに協力し合い、細部にもこだわりながら丁寧にロケットの製作に取り組みました。打ち上げの際、ロケットが空高く舞い上がると、参加した子どもたちの歓声が響き、大いに盛り上がりしました。



参加した児童のみなさん



製作したモデルロケットの打ち上げ

インフォメーション

『第 13 回相馬市子ども駅伝競走大会』

○日時 令和 7 年 11 月 29 日（土）9：00 スタート（8：30 開会 小雨決行、荒天時中止）
○場所 相馬市民会館・馬陵通り

歴史資料収蔵館 企画展「相馬市ってどんなところ？—相馬市史から見てみよう!!—」

○期間 令和 8 年 1 月 31 日（土）～ 3 月 15 日（日）
○入館料 大人 100 円
子ども ※無料 市内の学校に通学、または、市内に居住する小学校、中学校、高等学校生に限る

相馬市史刊行記念事業 講演会&パネルディスカッション

○日時 令和 8 年 2 月 21 日（土）13：00～ ○会場 相馬市中央公民館 2 階会議室 ○入場無料

そうま音楽夢工房第 85 回演奏会「カジュアルマリリンコンサート」

○日時 令和 8 年 2 月 28 日（土）14：00 開演 ○会場 相馬市民会館 多目的ホール

第 11 回エル・システム子ども音楽祭 in 相馬 ※詳細は今後広報そうま等でお知らせします。

○日時 令和 8 年 3 月 21 日（土）時間未定 ○会場 相馬市民会館

『相馬市史』
好評販売中！



相馬市史 一覧

- 相馬市史 第 1 巻 通史編Ⅰ 原始・古代・中世
- 相馬市史 第 2 巻 通史編Ⅱ 近世
- 相馬市史 第 3 巻 通史編Ⅲ 近代・現代
- 相馬市史 第 4 巻 資料編Ⅰ 原始・古代
- 相馬市史 第 4 巻 資料編Ⅱ 中世
- 相馬市史 第 5 巻 資料編Ⅲ 近世 1
- 相馬市史 第 6 巻 資料編Ⅳ 近世 2
- 相馬市史 第 7 巻 資料編Ⅴ 近代・現代
- 相馬市史 第 8 巻 特別編Ⅰ 自然
- 相馬市史 第 9 巻 特別編Ⅱ 民俗
- 相馬市史 年表

- ◆サイズ／各 B5 判
- ◆価格／各 5,000 円（税込）※年表のみ 1,000 円（税込）
- ◆販売場所 市内書店（広文堂書店・丁子屋書店）、図書館、歴史資料収蔵館、生涯学習課（市役所 1 階）
- ◆問い合わせ／文化係（☎ 37-2100）